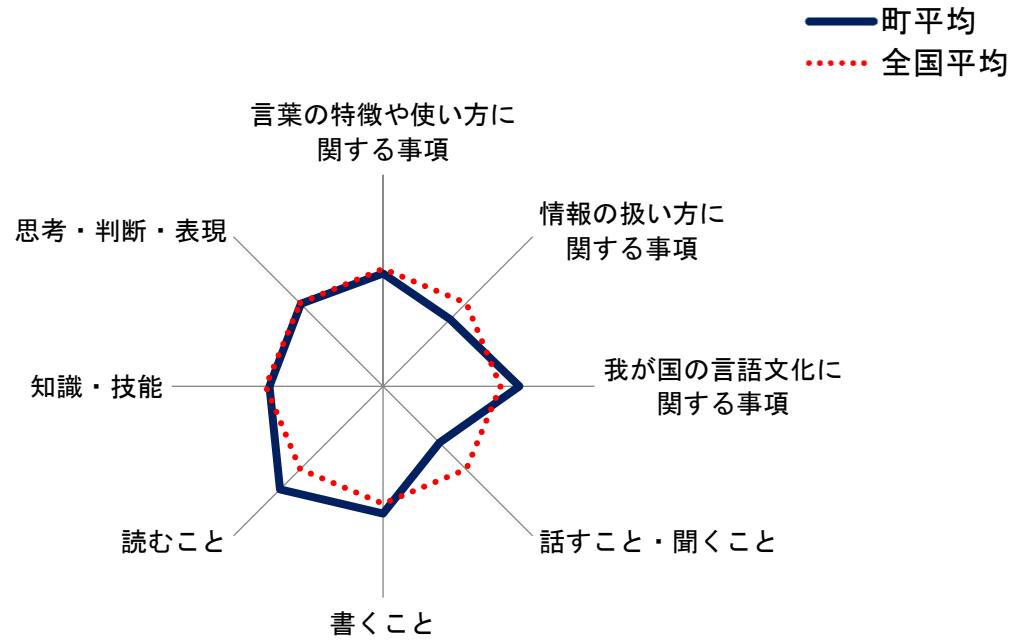
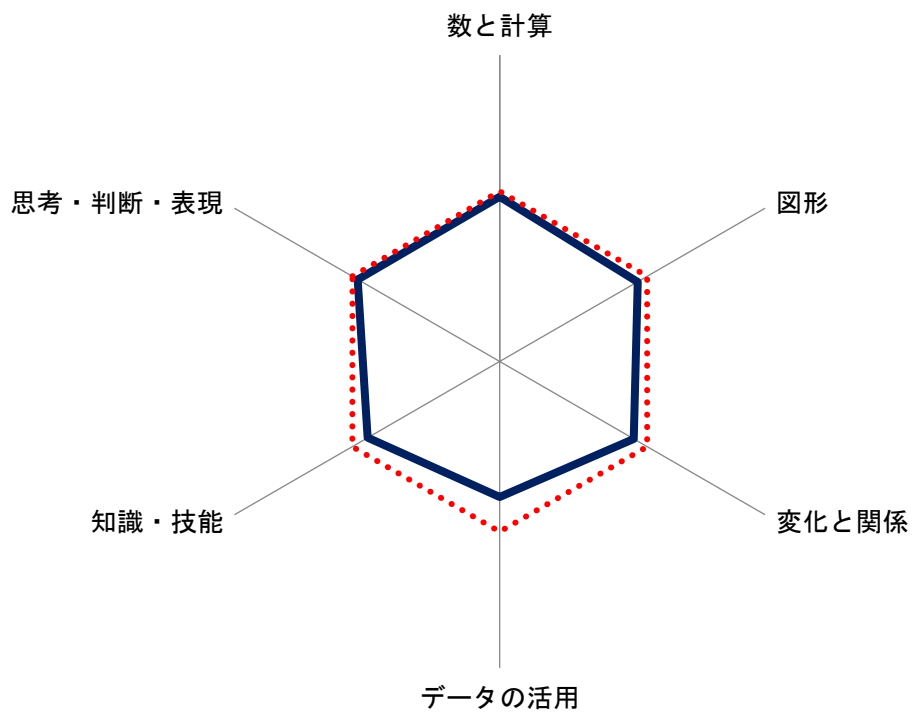


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

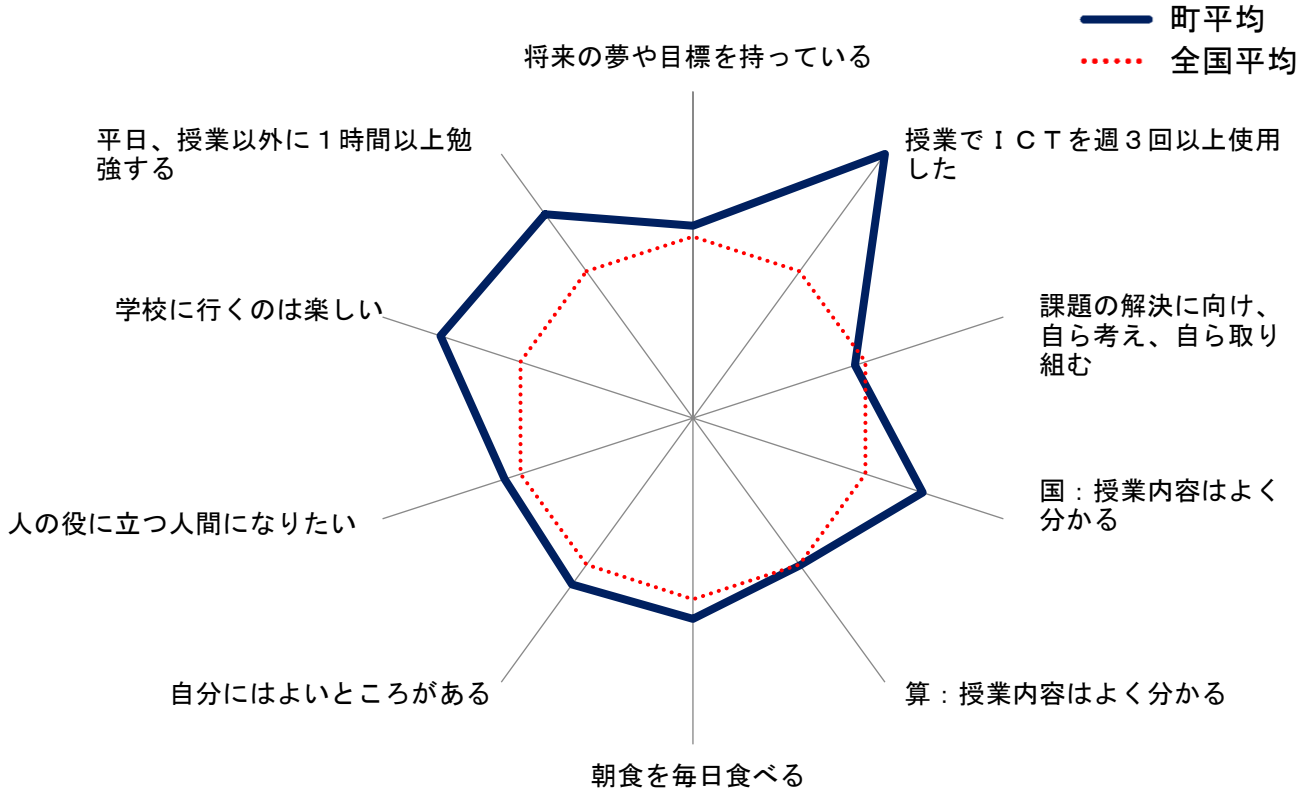
【国語】



【算数】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「読むこと」「我が国の言語文化に関する事項」の項目が全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。一方、国語の「話すこと・聞くこと」、算数の「データの活用」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題が見られる。今後は、設問ごとに詳細な分析を行い、成果と課題を明確にするとともに、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かし、より質の高い授業改善に取り組むことで、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

児童質問調査では、取り上げている多くの項目が全国平均とほぼ同じか上回っている。特に、「授業でICTを週3回以上使用した」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」「学校に行くのは楽しい」の項目が全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。今後も、学力向上の基盤となる魅力ある学校づくりや基本的な学習習慣の確立に向けた取組を、学校と家庭が連携してより一層推進することが望まれる。